

事業番号	08 04 15	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特用作物振興事業費			担当課	部局	農政部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H22	～ H26

1 事業の概要

目指す姿	薬草(生薬原料)の国内産需要の高まりを踏まえ、薬草の栽培技術等の確立を進めながら収益性の向上を図るとともに、栽培技術研修会の開催により魅力ある品目となることで、中山間地域等への推進品目の一つとして推進し、実需者からのニーズに応えられる県内産地の育成に努め、中山間地農業の活性化を図る。 成果目標:県の生産体制整備による栽培面積 344a(H22) → 4,000a(H29)	
現状	○国内生薬原料の80%以上は中国からの輸入に依存しているものの、中国からの輸入環境が厳しくなっており、国内生薬メーカー等は国内における安定的な原料確保を強く望んでいる。県では平成20年から実需者と連携した県内における生産体制整備に努めており、実需者は長野県の気象条件が薬草栽培に適していると判断し、生産拡大を要望している。 ○本来、山採りにより確保されていた作物であるため、栽培技術が未確立で収益性が不安定である。また一般農作物と異なり、流通と需要が限定的なことから、引き続き県による生産体制整備が必要である。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金を活用しながら実施することが効果的である。 中山間ふるさと・水と土保全推進事業実施要領

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<input type="checkbox"/> 薬草栽培研修会の開催による栽培者および栽培希望者への薬草栽培条件の周知、栽培・乾燥調製技術の講習 3回(対象者のべ120人) <input type="checkbox"/> 県の生産体制整備による栽培面積 500a以上:H23年度の1.5倍を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	1.特用作物生産振興推進事業	直接	わさび、茶、薬用作物等の産地指導、薬草生産連絡会議の開催	214	214	204
	2.薬草種苗の増殖・供給	直接	薬草栽培者に対する種苗譲渡(財収)	662	573	590
	3.薬草栽培乾燥調製技術研修の開催	直接	薬草栽培研修会	168	10	156
	4.薬草栽培技術確立事業	直接	薬草栽培事例集の作成	122	20	69
	5.薬草栽培技術研究事業	直接	(面積拡大に向けた省力機械の開発)	—	—	1,500
	合計			1,166	817	2,519

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,199	1,178	1,166	2,519
	補正予算				
	合計(A)	1,199	1,178	1,166	2,519
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金他)	952	952	952	2,315
	一般財源	247	226	214	204
	決算額(B)	937	615	817	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
概算人件費(C)	832	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	1,769	1,441	1,643	3,345	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
研修会の開催	3回	3回	3回	達成	3回
県の生産体制整備による栽培面積	328 a	500 a	603 a (推計)	達成	900 a

目標に対する成果の状況	・薬草栽培への関心は高まっており、年度目標としていた栽培面積は達成した。 ・栽培技術や乾燥調製技術の向上研修についても計画どおり開催した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・薬草栽培の定着や拡大に向け、収益性の向上が最大の課題であるため、引き続き研修会を開催するとともに、栽培技術の確立に向けた取組みを重点化する必要がある。 ・法人等による1ha以上の栽培(今後計画含む)も始まってきたことから、省力化技術(機械化)の確立が必要となっており、定植機械の研究に着手する。
---------------------	--